



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 日医工株式会社

コード番号 4541 URL <http://www.nichiiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田村 友一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 稲坂 登

TEL 076-432-2121

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	68,987	13.2	5,816	31.9	5,136	17.5	3,614	20.2
27年3月期第2四半期	60,949	23.1	4,410	18.6	4,370	21.0	3,007	34.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 4,692百万円 (35.0%) 27年3月期第2四半期 3,474百万円 (46.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	60.44	60.31
27年3月期第2四半期	50.29	50.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	144,938	78,539	54.0	1,311.67
27年3月期	139,834	74,487	53.2	1,246.36

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 78,325百万円 27年3月期 74,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.30	—	14.30	26.60
28年3月期	—	13.30	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	13.30	26.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 27年3月期期末の配当金の内訳 普通配当 12円30銭 記念配当 2円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	10.2	12,500	29.9	12,100	25.8	8,000	21.3	133.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 詳細は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	60,662,652 株	27年3月期	60,662,652 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	923,538 株	27年3月期	962,569 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	59,801,533 株	27年3月期2Q	59,790,379 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)期末自己株式数には、従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成27年11月4日(水)に決算説明補足資料を当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の景気は、中国経済の先行き懸念からの世界同時株安の進行などを背景に足踏み感を懸念する見方もありますが、穏やかな回復基調を維持しております。

医薬品業界では、平成27年6月30日に「経済財政運営と改革の基本方針」（いわゆる「骨太方針2015」）が閣議決定され、医薬品等の改革に触れる中で後発医薬品のシェアを『2017年央に70%以上とする』とともに、2018年度から2020年度末までの間のなるべく早い時期に80%以上とする』という新たな目標が設定され、さらなる後発医薬品の普及に向けた体制整備への早期の対応が大きな課題となっています。

このような環境下で当社は、平成28年の承認を目指して開発しておりました抗ヒトTNF- α モノクローナル抗体薬NI-071（一般名：インフリキシマブ（遺伝子組換え）バイオ後続品）について、第3相試験（NI071F1）の良好な結果が得られたことを踏まえ、平成27年9月に製造販売の承認申請をいたしました。

抗体医薬品の一つであります本TNF- α 阻害薬に共通する課題の一つは高額な治療費にあります。より安価な製品の供給を可能とするバイオ後続品の開発は、医療保険の財政負担軽減の観点からも大いに期待されるものであります。

また平成27年6月収載追補品の中で「オーソライズドジェネリック製剤」として独占販売する『クロピドグレル錠25mg「SANIK」』および『クロピドグレル錠75mg「SANIK」』が順調に売上を伸ばす一方で、平成27年8月17日には『アムバロ配合錠「日医工」』、『アマルエット配合錠 1番/2番/3番/4番「日医工」』、『バルサルタンOD錠20mg/40mg/80mg/160mg「日医工」』、『セルトラリン錠25mg/50mg「日医工」』、『レボカルニチン塩化物錠100mg/300mg「日医工」』、『メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「日医工」』、『タゾピペ配合静注用2.25/4.5「日医工」』、『マキサカルシトール静注透析用2.5 μ g/5 μ g/10 μ g「日医工」』、『バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「日医工」』、『ピシリバクタ静注用3g』の10成分21品目の製造販売の承認を取得しました。

さらに、今後の医薬品市場の伸長が期待できる東南アジア地域のベトナム市場でも『ホスホマイシンカルシウムカプセル250mg/500mg「日医工」』の製造販売の承認を取得しており、平成28年1月ごろの販売を目指しております。

加えて当社では上記「骨太方針2015」に対応し、平成33年3月期までの総供給可能数量210億錠体制を目指し、総額210億円を投資して富山第一工場と日医工ファーマテック株式会社静岡工場の設備増強及び富山第一工場内での製剤棟新設を計画いたしております。本計画はジェネリック医薬品市場の今後の急速な広がりに対応するものであり、製造能力拡大を優先するため、平成27年5月にお知らせした「50棟（高薬理製造棟）」の建設につきましては、当面先送りいたします。

なお、当第2四半期の7月15日には創立50周年の節目も迎えており、「ジェネリック世界TOP10」を目指す第6次中期経営計画「Pyramid」（平成25年3月期～平成28年3月期）の最終事業年度として、一層の業績伸長に努めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が689億87百万円（前年同期比113.2%）、営業利益が58億16百万円（前年同期比131.9%）、経常利益51億36百万円（前年同期比117.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益36億14百万円（前年同期比120.2%）と、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ51億4百万円増加し、1,449億38百万円となりました。その主な要因は、たな卸資産の増加37億49百万円、機械装置及び運搬具の増加26億55百万円、建物及び構築物の増加16億73百万円、投資有価証券の増加12億26百万円、受取手形及び売掛金の増加9億69百万円、現金及び預金の減少43億9百万円、長期貸付金の減少16億66百万円などによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ10億52百万円増加し、663億98百万円となりました。その主な要因は、短期借入金の増加70億50百万円、預り金の増加11億57百万円、支払手形及び買掛金の減少20億93百万円、電子記録債務の減少19億11百万円、長期借入金の減少13億99百万円、未払法人税等の減少8億99百万円などによるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金の増加27億60百万円、その他有価証券評価差額金の増加10億72百万円などにより、前連結会計年度末に比べ40億51百万円増加し、785億39百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績予想につきまして、当第2四半期連結累計期間の売上実績が公表計画を上回るペースで推移していますので、売上高を1,400億円（平成27年5月12日公表比28億円増）に修正いたします。なお、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回予想から変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,032	9,723
受取手形及び売掛金	21,965	22,935
商品及び製品	27,987	28,372
仕掛品	6,212	8,204
原材料及び貯蔵品	8,230	9,602
繰延税金資産	826	841
その他	1,348	1,207
貸倒引当金	△803	△972
流動資産合計	79,798	79,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,537	18,210
機械装置及び運搬具(純額)	7,697	10,353
工具、器具及び備品(純額)	1,150	1,230
土地	6,184	6,185
リース資産(純額)	1,914	1,786
建設仮勘定	623	1,188
有形固定資産合計	34,107	38,954
無形固定資産		
のれん	1,077	971
リース資産	323	267
その他	3,252	4,022
無形固定資産合計	4,652	5,261
投資その他の資産		
投資有価証券	13,602	14,829
長期貸付金	6,377	4,710
その他	1,359	1,320
貸倒引当金	△64	△52
投資その他の資産合計	21,276	20,808
固定資産合計	60,035	65,024
資産合計	139,834	144,938

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,583	14,489
電子記録債務	16,172	14,261
短期借入金	2,750	9,800
1年内返済予定の長期借入金	3,996	3,439
リース債務	906	869
未払金	6,844	6,171
未払費用	660	693
未払法人税等	2,525	1,625
預り金	69	1,226
返品調整引当金	68	51
賞与引当金	861	879
その他	179	394
流動負債合計	51,618	53,903
固定負債		
長期借入金	7,831	6,432
リース債務	1,501	1,349
繰延税金負債	694	1,009
再評価に係る繰延税金負債	231	231
退職給付に係る負債	3,410	3,415
資産除去債務	53	54
その他	4	2
固定負債合計	13,727	12,495
負債合計	65,346	66,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,976	19,976
資本剰余金	18,684	18,749
利益剰余金	33,206	35,966
自己株式	△1,543	△1,474
自己株式申込証拠金	-	3
株主資本合計	70,324	73,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,809	3,881
土地再評価差額金	321	321
為替換算調整勘定	1,038	1,030
退職給付に係る調整累計額	△142	△128
その他の包括利益累計額合計	4,026	5,104
新株予約権	137	214
純資産合計	74,487	78,539
負債純資産合計	139,834	144,938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	60,949	68,987
売上原価	38,469	43,226
売上総利益	22,479	25,761
返品調整引当金戻入額	12	17
差引売上総利益	22,491	25,778
販売費及び一般管理費	18,081	19,961
営業利益	4,410	5,816
営業外収益		
受取利息	15	52
受取配当金	22	29
助成金収入	1	17
共同開発費用分担金	43	6
為替差益	125	—
その他	125	128
営業外収益合計	335	234
営業外費用		
支払利息	58	62
支払手数料	21	40
売上債権売却損	70	97
持分法による投資損失	195	134
為替差損	—	442
その他	29	137
営業外費用合計	374	914
経常利益	4,370	5,136
特別利益		
固定資産売却益	0	0
負ののれん発生益	270	—
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	270	0
特別損失		
固定資産処分損	94	7
ゴルフ会員権評価損	—	4
その他	—	2
特別損失合計	94	15
税金等調整前四半期純利益	4,547	5,121
法人税等	1,540	1,507
四半期純利益	3,007	3,614
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,007	3,614

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	3,007	3,614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	496	668
退職給付に係る調整額	13	19
持分法適用会社に対する持分相当額	△42	390
その他の包括利益合計	467	1,078
四半期包括利益	3,474	4,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,474	4,692
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,547	5,121
減価償却費	2,393	2,456
のれん償却額	105	105
負ののれん発生益	△270	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	288	156
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	109	33
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△12	△17
賞与引当金の増減額(△は減少)	201	17
受取利息及び受取配当金	△38	△82
支払利息	58	62
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
ゴルフ会員権評価損	—	4
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
固定資産処分損益(△は益)	94	7
持分法による投資損益(△は益)	195	134
売上債権の増減額(△は増加)	1,515	△1,013
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,575	△3,732
仕入債務の増減額(△は減少)	3,302	△4,005
未払費用の増減額(△は減少)	161	31
その他	457	1,166
小計	9,533	447
利息及び配当金の受取額	98	104
利息の支払額	△58	△62
法人税等の支払額	△650	△2,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,922	△1,953
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3	△1
有形固定資産の取得による支出	△1,643	△6,079
有形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	△78	△6
無形固定資産の取得による支出	△1,096	△1,325
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,341	—
投資有価証券の取得による支出	△691	△3
投資有価証券の売却による収入	1	0
貸付金の回収による収入	8	1,330
その他	△165	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,009	△6,129
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,696	7,050
長期借入金の返済による支出	△1,849	△1,956
自己株式の取得による支出	△1	△1
自己株式の売却による収入	108	95
自己新株予約権の取得による支出	△87	△0
ストックオプションの行使による収入	—	3
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△519	△465
配当金の支払額	△734	△853
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,779	3,872
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△100
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,866	△4,310
現金及び現金同等物の期首残高	21,269	13,609
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,403	9,299

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。